

I 第38週の発生動向 (2016/9/19~2016/9/25)

1. 警報・注意報は、発令されていません。
2. RSウイルス感染症は、県全体では患者報告数が大幅に減少しましたが、東地方保健所+青森市保健所、五所川原保健所管内で患者報告数が増加し、特に東地方保健所+青森市保健所管内では、患者報告数が前週の4人から15人に増加しました。
※第37週のむつ保健所管内のRSウイルス感染症の患者報告数が、5人(定点当たり1.25人)から7人(定点当たり1.75人)に修正になりました。
3. マイコプラズマ肺炎の患者報告数が増加しており、県全体の定点当たり患者報告数が今年に入ってから最多になりました。特にむつ保健所管内で患者報告数が多い状態が続いています。

II 第38週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ															-1
小児科	RSウイルス感染症	15	1.88	17	1.89	12	1.20	2	0.40	2	0.33	7	1.75	55	1.31	-27
	咽頭結膜熱	1	0.13	1	0.11									2	0.05	-3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			8	0.89	18	1.80	2	0.40					28	0.67	-17
	感染性胃腸炎	26	3.25	5	0.56	16	1.60	13	2.60	4	0.67	4	1.00	68	1.62	-7
	水痘							1	0.20	1	0.17	6	1.50	8	0.19	2
	手足口病	1	0.13	10	1.11					1	0.17			12	0.29	-25
	伝染性紅斑	6	0.75							1	0.17			7	0.17	1
	突発性発しん	4	0.50	6	0.67	3	0.30	1	0.20	1	0.17	2	0.50	17	0.40	0
	百日咳															-5
	ヘルパンギーナ	13	1.63	8	0.89	13	1.30	10	2.00	15	2.50	7	1.75	66	1.57	-42
流行性耳下腺炎	4	0.50					1	0.20	1	0.17	6	1.50	12	0.29	-10	
眼科	急性出血性結膜炎															-1
	流行性角結膜炎	1	0.50			4	2.00							5	0.45	0
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎					3	3.00					9	9.00	12	2.00	3
	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)									1	1.00			1	0.17	1

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

つつが虫病(四類感染症) 第2回

つつが虫病は、つつが虫病リケッチアによる感染症で、ダニの一種であるツツガムシによって媒介されます。つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシに刺されて5~14日の潜伏期間の後、典型的な症例では39℃以上の高熱を伴って発症し、皮膚には特徴的なダニの刺し口が見られ、その後数日で体幹部を中心に発疹がみられるようになります。発熱、刺し口、発疹が、本疾患の主要3徴候と呼ばれています。

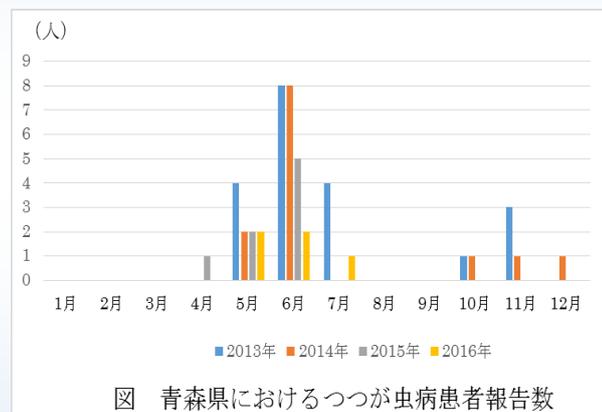
青森県内では、2016年の5月~7月にかけて5人の患者が報告されました。例年、春~初夏(5月~7月)及び秋~初冬(10月~12月)に報告のピークが見られますので(図)、これからの時期も注意が必要です。

感染した場合、早期に適切な治療が受けられないと重篤化する可能性が高くなります。ダニが生息する地域に立ち入った後に症状が現れた際には、早めに医療機関を受診することが重要です。

なお、予防のためには、ダニの吸着を防ぐことが大切です

ですので、①山林、河川敷などの草地、耕地などに立ち入る際は素肌を露出しないこと、②帰宅後は入浴すること、③着用していた服はすぐに洗濯することを心掛けましょう。

○詳しくはこちらをご覧ください [国立感染症研究所HP](#)



Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：弘前2人、八戸1人、五所川原1人 (2016年計:216人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患)：弘前1人 (2016年計:13人)

Ⅳ 病原体検出情報

検出情報はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2016年第35週～2016年第38週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
35	H28.8.29 ~ H28.9.4				腸管出血性大腸菌 感染症1人		
36	H28.9.5 ~ H28.9.11		梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症3人			カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人
37	H28.9.12 ~ H28.9.18		レジオネラ症1人 梅毒1人				アメーバ赤痢1人
38	H28.9.19 ~ H28.9.25		梅毒1人				

Ⅵ 結核(二類全数把握疾患) (2016年第35週～2016年第38週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
35	H28.8.29 ~ H28.9.4		2	2	1		
36	H28.9.5 ~ H28.9.11	2	2	2	1	1	
37	H28.9.12 ~ H28.9.18	2	1	3		2	
38	H28.9.19 ~ H28.9.25		2	1	1		

Ⅶ 全数把握疾患発生状況 (全国-青森県) (注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第37週累計)

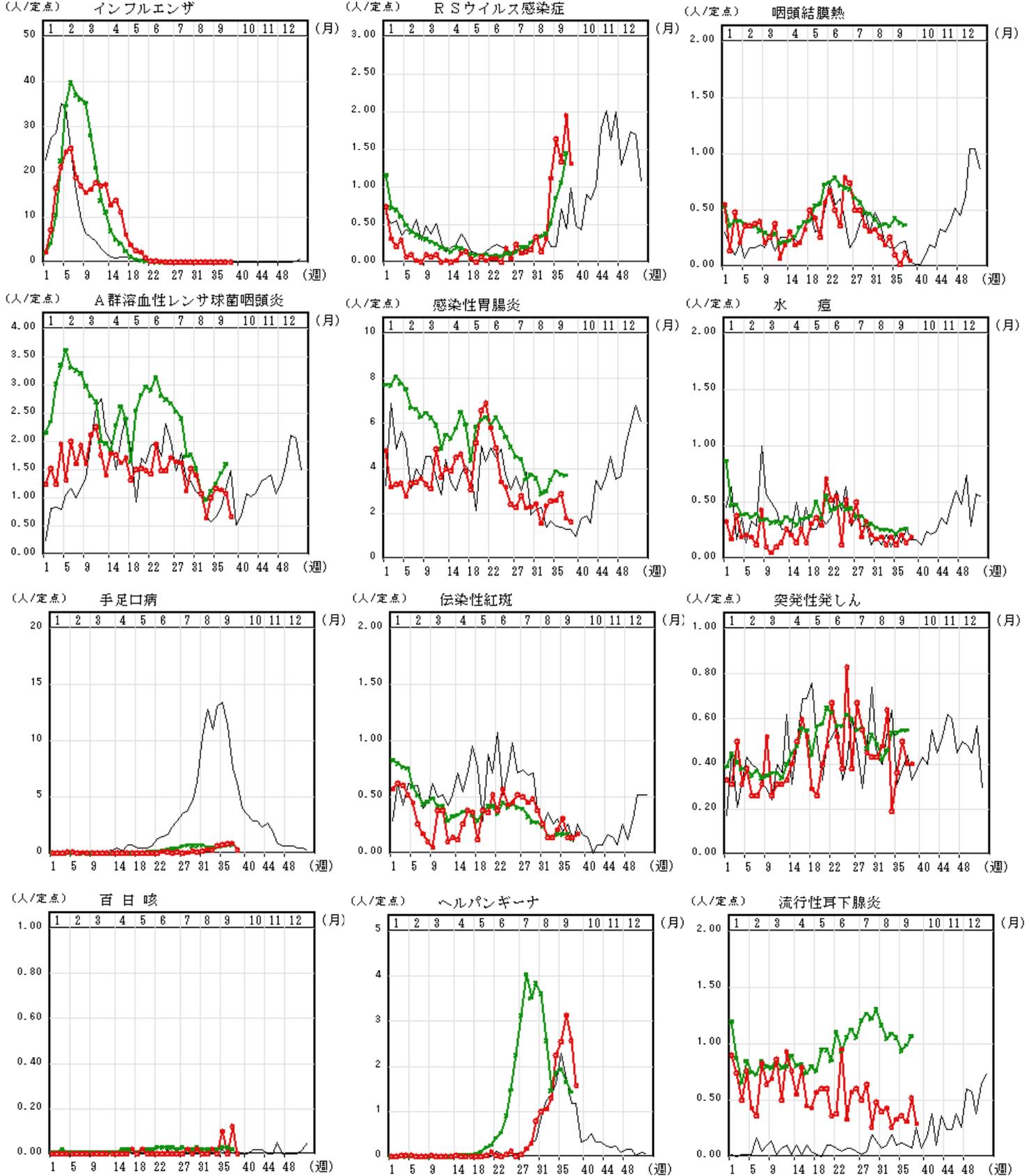
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	17094	6	95	2705	32	13	295	218	14	5
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	7	3	8	45	1	9	94	257	153	2
分類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	3	39	5	1023	34	823	197	1036	596	10
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	130	365	1015	48	229	33	1890	213	3091	86
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症					
累積報告数	89	40	102	130	28					

青森県 (2016年第1週～第38週累計)

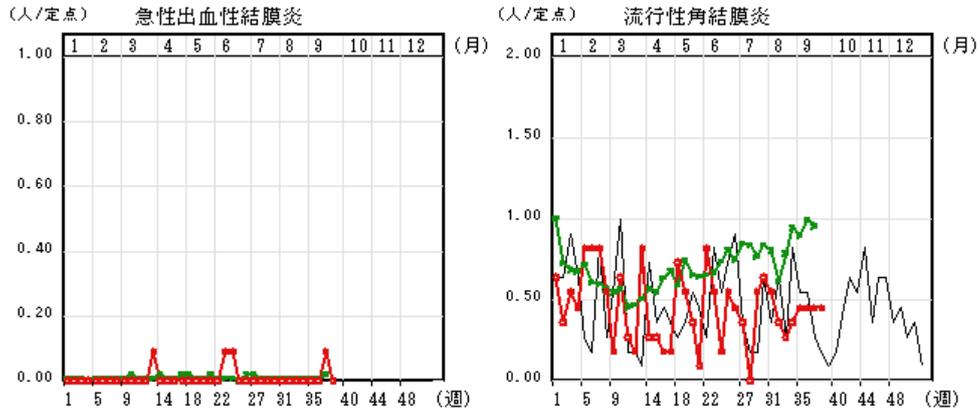
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	クリプトスポリジウム症
累積報告数	216	89	5	3	1	5	4	3	10	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒				
累積報告数	3	3	2	7	3	13				

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第38週、ただし全国は前週)

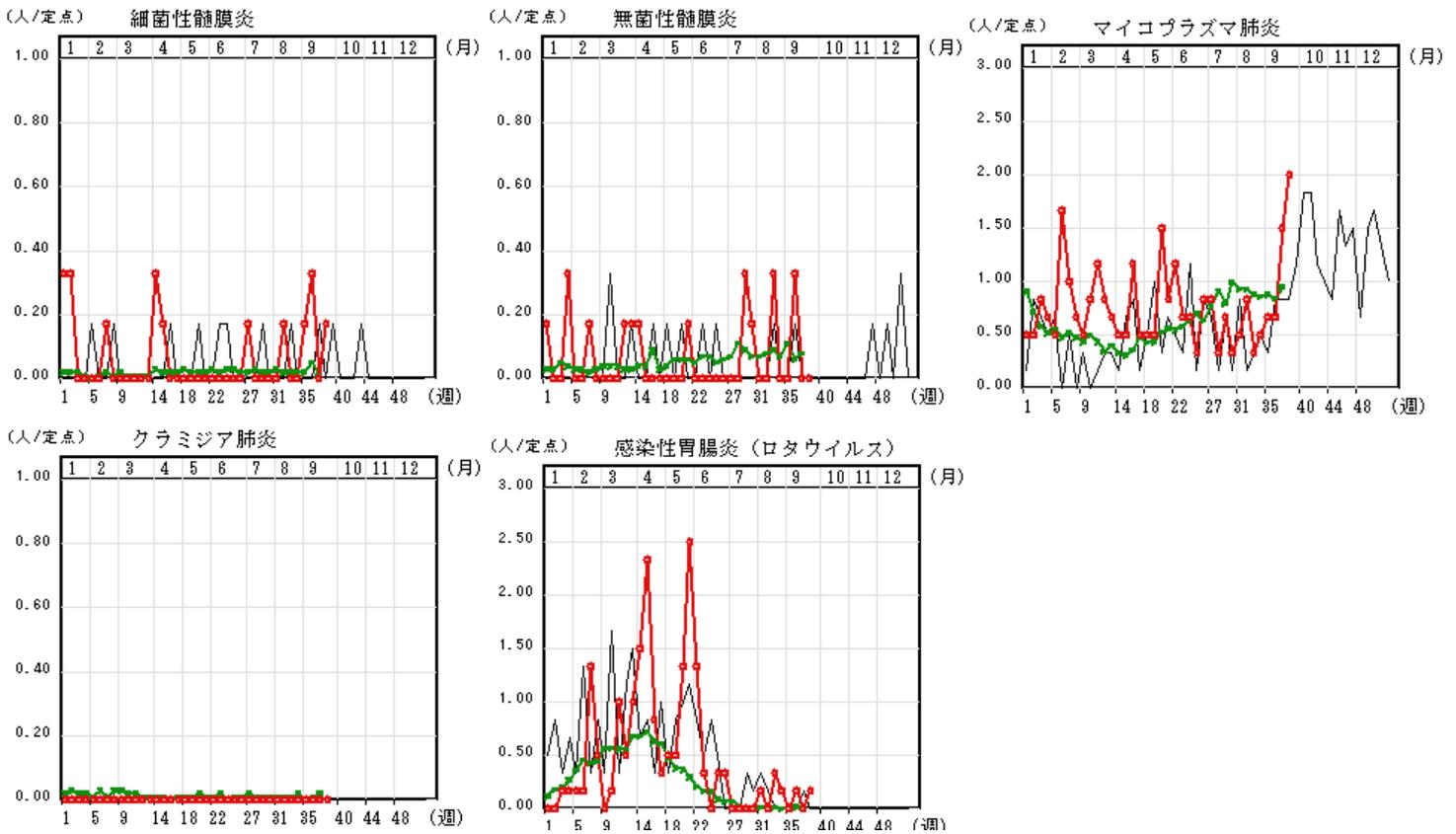
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、—は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第38週、ただし全国は前週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第38週、ただし全国は前週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第38週
報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35週	36週	37週	38週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	0	0	0	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	5
	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	0	0	0	0	91
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	0	0	0	0	16
	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	0	0	0	0	308